

成長の未来図

▶ 8

アイスランド、09年の大転換

社会へと転換を図った。09年に初の女性首相が誕生。企業などに女性役員比率を4割以上にすることを求めた。11年以降、新型コロナウイルス禍前までの実質国内総生産(GDP)の成長率は平均で3.5%に高まった。

男女平等が生む活力

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

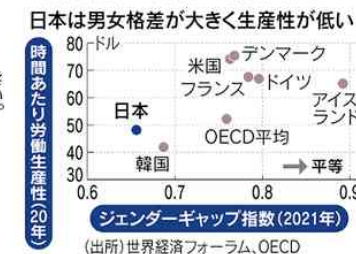
アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

社会へと転換を図った。09年に初の女性首相が誕生。企業などに女性役員比率を4割以上にすることを求めた。11年以降、新型コロナウイルス禍前までの実質国内総生産(GDP)の成長率は平均で3.5%に高まった。

日本の男女の賃金格差は縮小傾向だがなお大きい



日本は男女格差が大きく生産性が低い



（出所）世界経済フォーラム、OECD

実際立つ。女性が能力を發揮できる環境が整っておらず、非正規雇用が5割以上と高いこともあってなかなか上がらない。スウェーデンのウアサラ大、奥山陽子助教授（労働経済学）は「北欧のように女性の視点をビジネスの現場に取り入れなければ、日本は再浮上できない」と訴える。特に創造性の高い研究開発分野での活躍を見込む。その見立てを裏付けるデータもある。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

北欧の島国アイスランドは2008年、リーマン・ショックの際、危険な投資にのめり込んだツケが回り、財政が破綻する危機に陥った。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。

アイスランドは09年、男女平等の度合いをランキングにした「ジェンダーギャップ指数」でトップを飾り出した。以来、12年連続でその地位を維持し、女性の労働参加率は64歳も80.7%（2016年）と、男性の労働参加率（64歳）も80.7%（2016年）と、男女の労働参加率に大きな差がなくなった。